

宮防ニュース

No. 30

(発行日)

2011. 11. 15

(発行責任者)

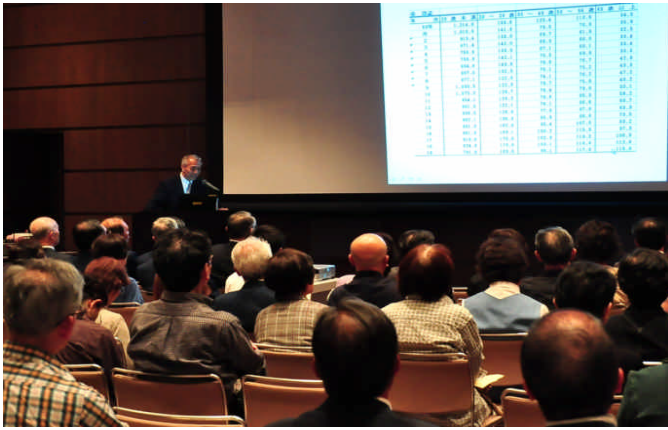
防犯宮沢支部

関根 富士夫

「地域の絆」を大切にしましょう

昭島警察副署長 江崎徹治氏の講演会より

去る十月八日(土)に「昭島地域安全のつどい」が開かれ、講演が行われました。演題は「持続可能な地域防犯活動のあり方」。私たちが活動する上でとても有意義なお話でした。ここにその一部を紹介します。



講演する昭島警察副署長 江崎徹治氏(2011.10.08 昭島市民ホール(昭島市役所内))

講演の中で江崎氏は防犯活動の積極的な地域として次の2つの自治会を紹介しました。

- ① 兵庫県須磨市北須磨団地
- ② 千葉県習志野市秋津団地

ここには全国から視察団が見えたとのこと。

そしてこの両者には多くの共通点があると言います。紹介しまずと両者の共通点

- 入居開始時期、戸数、人口がほぼ同数で、一戸建てと高層住宅が混在している。
- 団地内の一般道に自動販売機が

一台もない。

● 団地内の清掃や手入れが行き届いている。

● 催し物が大好きで大人たちが楽しんでる。

● 犯罪や非行少年が少ない。

● 必要以上に警察や行政に頼らない。

● 成人した子供が孫を連れてUターンする率が高い。

● 四〇年間、町内会名簿を出し続けている。

● 複数のリーダーが、自治会や催し物を運営している。

● 「挨拶」を大切にしている。

このような両者の共通点からまとめとして

● 大人同士が挨拶をしましょう。

● 「帰属意識」を持ち続ける方法を考えましょう。

(例：パトロール防犯マップ、趣味の会)

● 大人が楽しくないと子供も楽しくない。

● 子供が楽しく過ごせる地域は犯罪が少ない。

● 成長してUターンした子供は親と同じように地域を活性化させる。そして最後に結の言葉として

「みんなが高い規範意識を持って質素な生活を心がけ、地域の絆を大切に助け合って生きていきましょう。」と述べられました。

(2面「ぶらりわが街宮沢界限」)



防犯キャンペーン:2011.10.20(木)昭島駅北口 (写真左)チラシ配布、(写真右)ひったくり防止カバーを取り付ける防犯協会員